

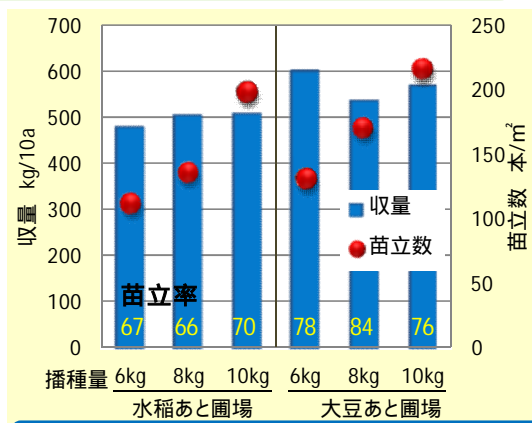
不耕起栽培小麦の品質向上と収量増加が実現しました!

不耕起栽培は、ほ場を耕さずに種子を播き、栽培する方法です。この方法は、省力化や土の移動による病気の蔓延防止など、多くの利点がありますが、通常の栽培と比べて品質や収量が不安定でした。そこで、不耕起栽培で、安定的に高品質の小麦を多く生産する技術を開発しました。

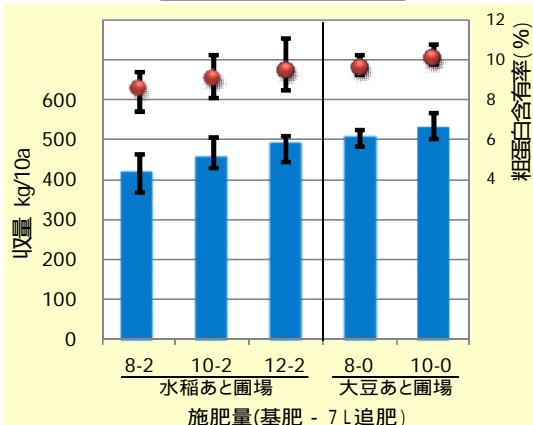
その結果、種子を11月上・中旬に播き、ほ場の前歴(小麦を播く前に何が栽培されていたか)に応じて、播く種子の量、肥料の量や時期を変えることで、収量と品質を向上させることが可能になりました。



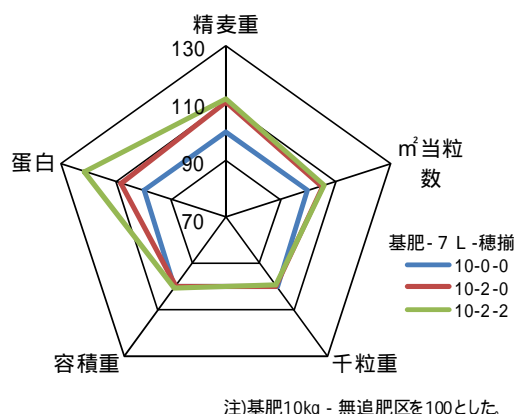
不耕起播種機



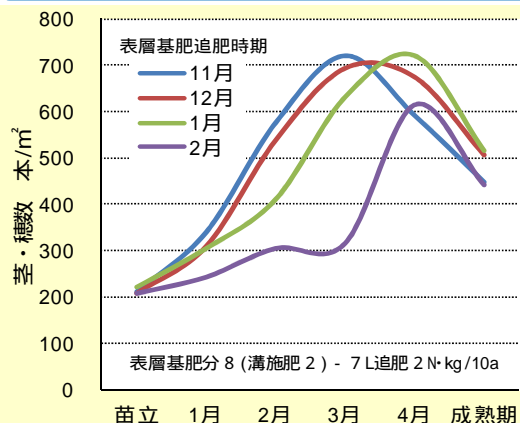
播種量：水稲あと8kg、大豆あと6kg/10a



基肥：水稲あとN10kg、大豆あとN8kg/10a



水稲あとは7葉期と穂前期追肥で収量品質向上



播種溝施肥方式では1月頃に表層基肥分(N8kg)を追肥すると収量向上

